

# 第5学年 図画工作科学習指導案

第5学年 28名

指導者 加藤 明果

授業場 パソコン室

## 1 題材名 この絵はここに！！ ぼくのわたしのおすすめの絵 <B鑑賞>

### 2 題材設定の理由

本題材は、親しみのある作品を見て、感じたことを伝え合う鑑賞活動である。本校では、普段からアートカードを活用して校内に絵を掲示したり、アートタイムにゲーム感覚で鑑賞を楽しんだりしている。今回は、校内に掲示する絵を自分たちで選ぶ学習活動を行う。子供たちは複数枚の絵の中から、色や形、イメージの視点からおすすめの1点を選びその理由を書く。ここでは、「視点別に色分けしたシール」や「おすすめカード」を活用して、子供たちの鑑賞活動を広げることができるであろうと考えた。その際、なぜその絵を選んだのかを友達に伝え合う一つ的手段としてタブレットを使う。タブレットは絵を拡大縮小したり、様々な背景の上に絵を貼り付けたりすることができる機能がある。その機能を使って、絵をかける場所は同じでも、選んだ絵によって、色や形、イメージや作者の意図のとらえ方がそれぞれ違うという楽しさを実感させることができる。また、子供たちにとって親しみのある作品を題材にし、場所を選ばせることで、児童が作品のよさや美しさ、表現の意図などを自ら感じ取り、味わうことができる鑑賞活動が期待できる。

本学級の児童は、明るく何ごとにも真面目に取り組んでいる。しかし、自分の思いを言葉で表現することに自信がなく抵抗を感じている児童も多かった。そこで、グループでの話し合いを取り入れたり、「思ったことを素直に伝えていいんだよ。」という言葉かけをしたりしたことで、少しずつ自分の思いを表現することができるようになってきた。5月に行った『鉛筆スケッチの世界を旅しよう』では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、一緒に鉛筆スケッチを鑑賞したりかいたりしたことで、鑑賞や表現することの面白さを感じる事ができた。7月には、徳島県立近代美術館の先生を招き、三宅克己の水彩画を鑑賞した。実際に水彩画に挑戦したことで、水彩画でしか表現できない楽しさを実感することができた。しかし、鑑賞活動をさせようとしても断片だけを取り上げて自分勝手な世界をイメージしてしまい、作品から離れてしまうという課題が残った。そこで今回、自分が選んだ場所にどんな絵をかけるかを考えることで、目的をもち、根拠を明らかにしながら感じたことを伝え合う学習活動を行いたいと考えた。このような学習活動を行うことで、互いの考えを認め合い、鑑賞活動の楽しさをさらに実感できるのではないかと考え、本題材を設定した。

指導に当たっては、子供たちが自分なりの感じ方や見方ができるように配慮する必要がある。そこで、より親しみを感じながら鑑賞活動ができるようにするために、子供たちにとって親しみのある絵を題材にし、場所を選んで学習を進めていきたい。その際、自分が絵から感じたことを思いのままに言語で表現できるようにアートタイムを活用したり、形容詞や感情を表す言葉「どんな感じ？」を教室に掲示したりして表現する手助けにしたい。また、絵から感じたことを、根拠をもって鑑賞させるための手立てとして、色分けした鑑賞シールを活用し、色・形・イメージの中で好きなところ、面白いと感じたところを焦点化できるようにする。さらに、友達同士で交流の時間を設け、「おすすめカード」に自分の感じた好きなところや面白いところをかき、交流し合うことで、互いの見方や感じ方の違いを楽しむことができるようにする。自分の思いをうまく表せない児童も、タブレットの機能や普段から掲示している言葉集「どんな感じ？」や、鑑賞シールをヒントとして、自分の思いを表現しやすい環境をつくっていきたい。このような活動を通して、美的な感覚を育てながら「ひと」「もの」「こと」につながっていく楽しさを実感させたい。

### 3 題材の目標

- 進んで作品を鑑賞することを楽しみ、自分らしい見方や感じ方で身近な美術作品を味わうことができる。

(造形への関心・意欲・態度)

- 色や形（線や面，構図）など，造形的な特徴や作者の意図をとらえ，友達と意見を交換・共有することで，作品のよさや美しさの感じ方を広げることができる。

(鑑賞の能力)

### 4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
進んで作品を鑑賞することを楽しみ，自分らしい見方や感じ方で身近な美術作品を味わおうとしている。	色や形（線や面，構図）など，造形的な特徴や作者の意図をとらえ，友達と意見を交換・共有することで，作品のよさや美しさの感じ方を広げることができる。

### 5 指導と評価の計画（全3時間 本時2/3）

時間	学習活動	評価規準・評価方法	
		造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
第一次 (二時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アートカードで鑑賞活動を行ったり掲示したい場所を選んだりして，学習への意欲をもたせる。</li> <li>○ グループで集まり，自分がその場所にかきたいと感じた絵を選ぶ。おすすめカードに色や形，イメージなどの視点から，自分が感じたことをかく。必要に応じてタブレットを活用し，根拠を明らかにしてグループの友達にどの絵を掲示しようと思ったのかを伝え合い，かける絵を選ぶ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>(本時2/3)</b></p>	<p>進んで作品を鑑賞することを楽しんだり，場所を選んだりしながら意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: center;">(観察・対話)</p>	<p>色や形（線や面，構図）など，造形的な特徴や作者の意図をとらえ，友達と意見を交換・共有することで，作品のよさや美しさの感じ方を広げようとしている。</p> <p style="text-align: center;">(観察・対話・おすすめカード)</p>
第二次 (一時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アート集会で，自分が鑑賞して見つけた作品のよさやどの場所かけられるのかを全校に紹介し，鑑賞活動を広げていく。</li> </ul>	<p>進んで作品を鑑賞することを楽しみ，自分らしい見方や感じ方で身近な美術作品を味わおうとしている。</p> <p style="text-align: center;">(観察・対話)</p>	

## 6 本時

### (1) 目標

色や形（線や面，構図）など，造形的な特徴や作者の意図をとらえ，友達と意見を交換・共有することで，作品のよさや美しさの感じ方を広げることができる。

### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	学習活動における具体的評価規準	評価方法
3分	1 本時の学習のめあてを確認し，活動への意欲をもつ。	○ 前時までの活動を確認し，本時の活動のめあてをもたせる。		
15分	2 パソコン室に掲示した複数枚の絵の中から，自分が担当する部屋にかけたい絵を選び，おすすめカードにシールを貼り，選んだ理由を書き込む。	○ 絵を1枚選び，おすすめカードにかかせる。 ＜部屋の振り分け＞ ・校長室 ・保健室 ・給食室 ・音楽室 ・郵便局 ・公民館 ＜シールの種類＞ ・ピンク色…色 ・水色…形 ・黄色…雰囲気(イメージ)	色や形（線や面，構図）など，造形的な特徴や作者の意図をとらえ，友達と意見を交換・共有することで，作品のよさや美しさの感じ方を広げることができる。  【鑑賞の能力】	観察 対話 発表 おすすめカード
15分	3 同じ場所同士でグループをつくり，それぞれが選んだ絵を鑑賞して感じたことを，根拠を明らかにしながら伝え合い，どの絵をかけるのかを選ぶ。	○ 感じ方が違ったり同じだったりするということの楽しさを実感させるために，必要に応じてタブレットを活用させながら，グループで集まり，自分の思いを伝え合わせる。そしてどの絵をかけたいかをそれぞれの根拠を基に話し合わせる。		
10分	4 自分たちが選んだ絵のよさを全体で伝え合う。	○ プロジェクターを使い，自分たちが選んだ絵を全体で共有し，さらなる鑑賞活動への意欲を高める。		
2分	5 次時への意欲をもつ。	○ 次時の鑑賞活動への意欲を高める。		

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断できる状況	・ 自分の見方や感じ方を広げ，絵から感じたことを色や形，イメージなどを根拠にし，友達と意見の交換をしながら作品のよさを広げ，深めることができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・ 対話を通してイメージを膨らませ，どの絵が自分の担当する場所にふさわしいのかを考えさせ，タブレットの機能やおすすめカードで使うシール，普段から掲示している言葉集「どんな感じ？」をヒントに助言をする。